

児童発達支援センターバンビ

支援プログラム

営業時間		8:30～17:00		送迎実施の有無		有	
バンビの理念		(1)児童一人ひとりに対する丁寧な「根拠」ある療育…相模原療育園の医療スタッフとの連携による療育・医療交流モデルの構築を目指します。 (2)南区の中核的療育支援センターとしての役割…保育所等への専門職の派遣や専門職による講演会や研修会を開催し、地域の総合的児童発達支援の拠点としての機能を果たします。 (3)福祉施設としての地域への貢献…近隣の小・中・高校生、地域の方々を対象とした福祉セミナーの開催、福祉理解を推進するためのボランティア活動の呼びかけ、講演や行事を開催して地域交流をはかります。					
療育基本指針		(1)地域で自分らしく生活するために、乳幼児期から基本的生活習慣を身につけられるように、保護者の方と共に療育を行います。 (2)小集団の良さを活かしながら、いろいろな環境への適応性を育て、生活力を養います。 (3)一人ひとりの支援計画を作成し、相模原療育園の医療スタッフと連携しながら、全職員と保護者の方と力を合わせて発達を促す関わりに取り組みます。					
支援内容							
項目 \ 期間		4～8月		9・10・11・12月		1・2・3月	
本人支援	ねらい	・新しい環境での生活に慣れる。 ・健康で安定した生活をする。		・自分らしさを発揮しながら、意欲的に過ごす ・他者と一緒により適応的な生活をする			
	健康・生活	・生活リズムを把握し、家庭と協力して整える。 ・一人ひとりの健康状態を把握し、保健的環境を整える。 ・安全な環境をつくり、室内外の温度・調節に留意し快適に生活する(通年)。 ・それぞれの発達段階や興味関心に合ういろいろな遊びが提供される中で、職員が関わりながら一人ひとりが楽しめる遊びや場所を見つける。		・保健衛生的な行動を一人ひとりの状態に合わせて増やす。 ・一人ひとりの状態に合わせた健康増進的な活動に積極的に取り組む。 ・一人ひとりに合わせて、新しい遊びや活動に積極的に取り組む。			
	(食事)	・一人ひとりの食事のとり方を把握し、無理のない安全な環境の中でバンビの昼食をとる。 ・食事に関する経験(行事食、お弁当)を広げる(通年)。		・整った環境の中で食事を取りながら、より適切な食事のとり方を身につける。			
	運動・感覚	・園庭や遊戯室などの安全な場所でそれぞれに合う運動遊びを楽しむ。 ・職員との触れ合い遊びやいろいろな遊具を使っての遊びで、様々に体を動かす。 ・整った環境の中で、適切な姿勢を保ち活動に取り組む。 ・いろいろな素材や道具に触れる機会を持ち、様々に手先を動かす。		・安全な環境の中で、いろいろな運動遊びに進んで取り組む。 ・できるようになった体の動かしかたや使い方を生活や遊びの中に活かし、自分でできることを増やす。			
	認知・行動	・整った環境の中で見通しを持ち、安心して活動する。 ・一人ひとりの感覚や物事の捉え方、人との関わり方に合わせて物事を提供され、できることを無理なく広げる(通年)。		・一人ひとりに合わせたわかりやすい環境の中で、わかるようになったことを活動の中で活かし、楽しむ。 ・わかりやすい環境の中で職員に助けられながら、決まりごとのある活動を楽しむ。 ・活動の中で、マークや文字、数や量、大きさや長さ、時間や空間、物のグループに親しみ、生活の中で使う。			
	人間関係	・クラス担任と親しみ、甘えたり頼ったりする。 ・クラス内で他児と過ごす。		・遊びの合う子ども同士で遊びの場を共有したり、他児と関わったりすることを楽しむ。 ・クラス集団の動きに合わせて、行動する。			
	言語 コミュニケーション	・簡単な言葉やそれに代わる方法での指示を理解し、それに沿って行動する。 ・職員にそれぞれの思いや事情を理解されることから、表情や身振り、声や言葉で表現することへの意欲を持つ。		・それぞれのできる方法で、職員や他児とのやり取りを楽しむ。 ・それぞれのできる方法で、必要に応じて職員や他児に思いを伝えようとする。			
家族支援		・子どもの状況や課題について、保護者とバンビで共有し、家庭での環境や関わり方をより良く、また家族の不安が軽減されるようにする。保護者から聞いている家庭で取り組みたい課題にバンビでも取り組み、具体的な段階の踏み方や家庭での環境の準備の仕方、働きかけ方について伝える。またその経過や結果について家庭と連絡を取りながら確認し、取り組みが続くよう支援していく。 ・定期的な面談や日々の連絡で、本児の発達の状況やそれに合う環境の整え方・関わり方を伝える。 ・療育参加に積極的に誘ったり個別面談の機会を作ったりして、バンビでの様子や家庭での姿を動画も活用しながら共有する。 ・医師や心理士との相談、保護者交流会、各種講座に積極的に誘い、参加を促していく。					
移行支援 地域支援・地域連携		・夏まつりなどバンビでの行事の経験が、地域の行事や遊び場に行くきっかけになるようにすすめる。 ・保育所との交流(さくらんぼ交流)を行い、地域の幼児と一緒に活動する機会を設ける。身近な地域社会に散歩等で出かけたり交流したりする機会を持つ。 ・就学に向けて、具体的に必要なことやそれへの取り組み方を伝える。また、就学についての相談や決定後の準備の援助をする。 ・保育所等訪問支援で所属園と連携を取り、課題に取り組む。					
行事等		入園・始業式(4月) 尿検査・歯科、内科健診(5月)	先輩ママのお話会(5月) 七夕(7月) 夏祭り(7月)		遠足・運動会(11月) 歯科、内科健診(11月) クリスマス(12月)		人形劇・おたのしみ会(1月) 豆まき(2月) ひなまつり(3月)卒園・終業式(3月)
		個別支援計画面談(年3回) 療育参加(年5回)避難訓練(毎月) さくらんぼ交流(年5回)					
職員の質の向上		・職場内研修(防災・衛生・接遇等)の開催 ・相模原療育園の医療、リハビリテーションスタッフによる研修の開催 ・毎日の連絡会での情報共有と療育の内容検討 ・外部研修への参加					